
夢のまた夢

ありすきゃろる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢のまた夢

【Nコード】

N2073I

【作者名】

ありすきゃるる

【あらすじ】

彼は妖精に出会いました。妖精は願いを叶えてくれるらしいです。

(前書き)

初めて書いた小説です。
短いです。

一応ホラーです。
多分

彼は、気がついたら森の中にいました。

彼は、夢だと気がつきました。何故かというと、着ている服はパジヤマだし、気がついたら森の中にいたんですから夢以外の何だ、と考えたようです。

気がつくと眼の前に泉があります。森の中なのに泉があっても不思議ではありません。だって、夢ですから。泉の中から妖精が顕れて、3つ願いを叶えますと云っています。さすが夢です。

彼は今日（もしかしたら昨日）ちょうど学校でけんかしてしまった子がいて悩んでいました。

どうにかして下さい。

と願いました。抽象的ですが、問題ないです。

その願いを聞いた妖精は、殺しました。

と云いました。彼は少し考えて、きつと「かしこまりました。」を言い間違えたに違いないと、思いました。何か間違っています。でも大丈夫、だって夢ですから。

妖精は、願いごとは後2つです。と律義に数えてくれます。優しいですね。彼は少し考えて、宿題をまだやっていない事に気がついたので、

宿題をどうにかして下さい。

と言いました。

すると妖精は、

先生を、殺しました。

と、先程よりわかりやすく云いました。

彼は少し考えて、どうやら「殺しました」は、「かしこまりました」を言い間違えた訳ではないと、気がつきました。それに気がついただけで、彼は考えるのをやめました。楽観的です。だって夢ですか

ら。多分・・・。

さあ、最後の願いをどうぞ。と、若干慌てたように、妖精は云います。せつかちですね。

彼は考えましたが、特に願いが思いつかなかったのでとりあえず、お金が欲しい。

と、言いました。願いは現実的です。

すると妖精は、

母親を殺せば生命保険が父親に入り間接的にあなたにもお金が入るので、殺しました。

・・・具体的です。ここまで説明しなくてもいいです。というぐらい具体的です。こんな妖精いやです。でも多分大丈夫。大分怪しいけど、夢ですから。

消えながら、妖精が夢の終わりを告げます。

「そろそろ、起きたら？ 起きた時が楽しみだわ。」

最後まで、いやな妖精です。

「変な夢見た。」

彼は、起きた。

窓から朝日が差し込み、小鳥の囀りが聞こえる。清々しい朝だ。

「早く起きなさい。学校遅れるわよ。」

階段の下から、母親の声が聞こえる。

「はい」

そう返事をして、彼はベットから出て1階に向かう。

母親も先生も友達も、死んではない。

だって、夢ですから。

(後書き)

夢って素敵です。

夢落ちも好きです。

あー、夢でよかった。

というのが好きなんです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2073i/>

夢のまた夢

2010年10月11日08時15分発行